

指数テーブル使用方法

5. 補修塗装指数

5-8. 内板骨格パネル補修塗装指数

1. 内板骨格パネル補修塗装指数

内板骨格パネル補修塗装指数は、外板パネル補修塗装指数とともに使用することを前提とした指数で、7つの代表的な内板骨格パネルの塗装範囲が車種共通で設定され（図1）、車両区分によって「乗用車」、「軽自動車」の2つの区分に分けられています。

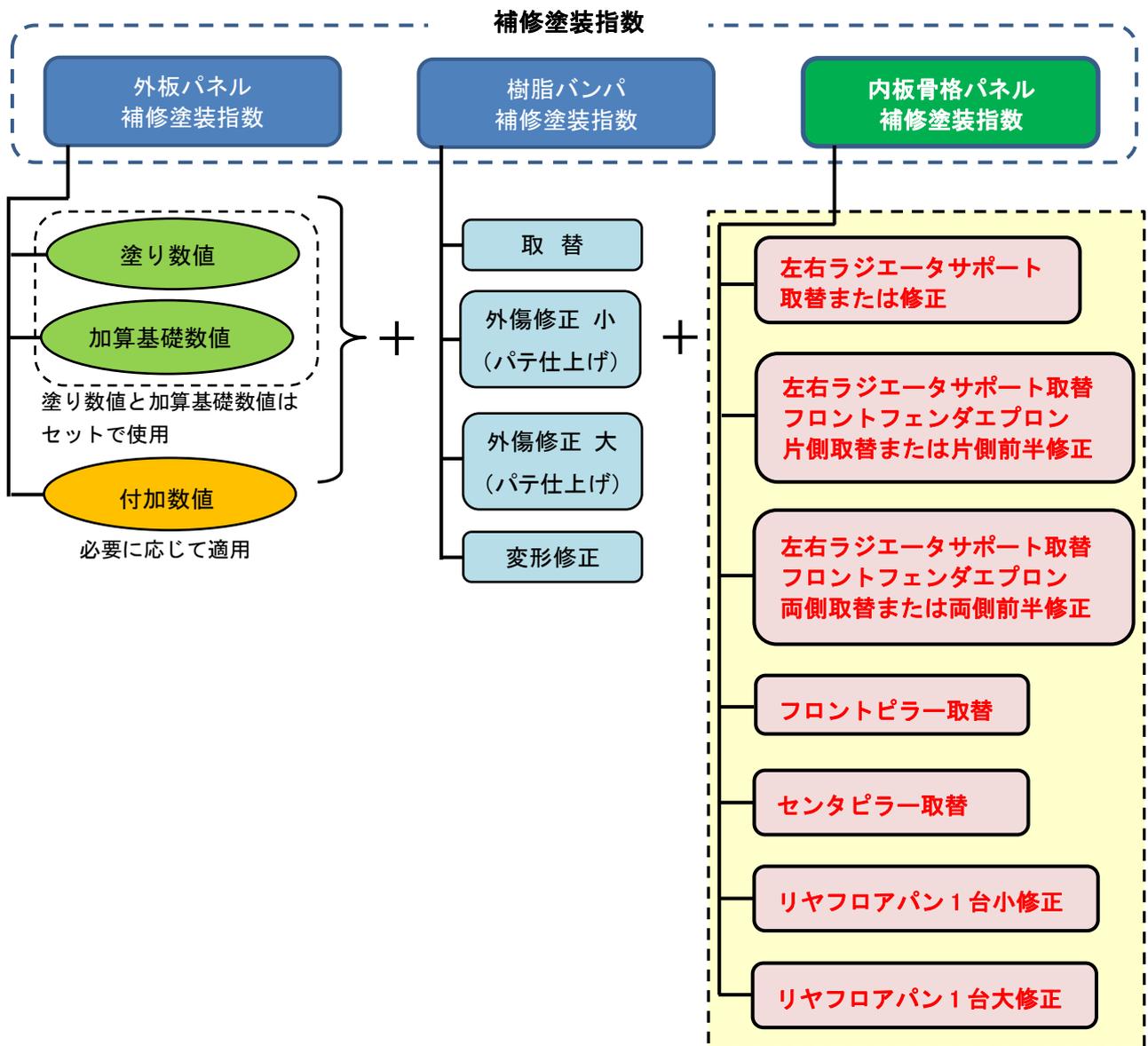


図1 補修塗装指数の構成

2. 例 A：ラジエータサポート取替

具体的な例で内板骨格パネル補修塗装指数を説明します。

以下の図は、ボンネット、左フロントフェンダおよびラジエータサポートを新品パネルに取替え、溶剤系 2K 塗料で 2 コートパール塗装する場合の補修塗装の例です。

例 A ボンネット、左フロントフェンダ、ラジエータサポート取替で 2 コートパール塗装の場合

<補修塗装作業の内容>

- ・ボンネット取替
- ・左フロントフェンダ取替
- ・ラジエータサポート取替
- ・2 コートパール塗装
- ・溶剤系 2K 塗料使用（ブース使用）

<補修塗装作業の範囲>

ボンネット、左フロントフェンダ計 2 枚を 2 コートパール塗装します。

ドアミラーなどのぼかし範囲のパネルの付属品はマスキングが前提

隣接の左フロントドア、右フロントフェンダへカラーベースをぼかし塗装し、クリアをブロック塗装します。

内板骨格パネル作業内容

ラジエータサポートを新品パネルに取替。

内板骨格パネル補修塗装範囲

ラジエータサポートを塗装します。

※作業範囲を明確にするために内板骨格の図はエンジンおよびサスペンションが取り外された状態ですが、この状態での塗装作業を意味するものではありません。

(1) 手順①：塗り数値の選択

表 1 例 A の塗り数値テーブル

No.	パネル名	面積 dm ² ※	塗り数値 (各塗膜共通)					高機能 塗装
			取替パネル		修正パネル			
			複数塗	単体塗	1/1 塗装 複数塗	1/2 塗装 複数塗	1/3 塗装 複数塗	
1	ボンネット	101	1.6	2.1	3.1	2.2	1.8	—
2	フロントフェンダ	35	1.2	1.6	1.9	1.4	1.3	—
3	フロントドア	93	1.9	2.5	3.0	2.1	1.8	—
4	リヤドア	80	1.7	2.3	2.7	2.0	1.7	—
5	クォータパネル	70	2.5	3.0	2.6	1.9	1.6	—
6	トランクパネル	90	1.5	2.0	3.0	2.1	1.7	—
7	バックパネル	68	1.7	2.2	2.5	1.8	1.6	—
8	ルーフパネル	188	2.9	3.8	4.1	3.1	2.5	—
9	ロッカアウタパネル	25	1.4	1.6	1.3	—	—	—

※1dm²=10cm×10cm

取替パネル：(含) 下処理、シーリング
修正パネル：(含) 下処理

(注 1) 溶接系パネルは取替に伴う関連部の補修塗装を含みます。
(注 2) 修正パネルを単体塗装する場合には、「塗り数値」に 0.4 を加算して運用してください。

例 A では、ボンネット、左フロントフェンダ計 2 枚を塗装します。表 1 の塗り数値テーブルから、それぞれパネル名は**ボンネット**、**フロントフェンダ**、**取替パネルの複数塗りの**数値を選択、塗り数値は、**ボンネット 1.6+フロントフェンダ 1.2=2.8**となります。この数値は溶剤系塗料でソリッド塗装した場合の新品パネルのプラサフ用足付けから下塗り、上塗り、仕上げまでの作業で、2 コートパール^{の作業量増加分を除く}塗装作業全般の作業時間に当たります。

(2) 手順②：加算基礎数値の選択

2 コートパール塗装は、ソリッド塗装より作業量が増えるので、この**作業量増加分**は、加算基礎数値に**塗膜加算**として含まれます。

例 A ではボンネット、左フロントフェンダ計 2 枚を 2K 塗料で 2 コートパール塗装します。表 2 より、塗膜は 2 コートパールで塗料は 2K、パネル枚数は 2 枚で、加算基礎数値は 2.9 を選択します。

表 2 例 A の加算基礎数値テーブル

加算基礎数値							
塗膜	パネル枚数	塗料	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚
ソリッド		速乾	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
メタリック		2 K	2.8	2.9	3.0	3.1	3.1
2コートパール		速乾	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4
3コートパール		2 K	4.0	4.2	4.4	4.7	4.9
		速乾	4.2	4.4	4.7	4.9	5.1

この数値は 2 コートパール塗装する場合の準備と調色、ソリッド塗装との作業量差（塗膜加算）であるぼかし塗装とクリヤ塗装のかかわる作業時間となります。なお、ぼかし塗装を施すパネルは枚数に数えないので注意してください。

(3) 手順③：付加数値の選択

例 A では、溶剤系 2K 塗料でブースを使用して塗装します。したがって、この例では付加数値の中から、**ブース加算**の数値を適用します。以下の表 3 が適用する付加数値のテーブルです。

表 3 例 A の付加数値テーブル

ブース加算	
数	値
	0.5

(注 1) ブースを使用した場合に、1 回加算してください。
 (注 2) 3 コートパールおよび高機能塗装の場合は、ブース使用を前提とし数値の中にブース加算が含まれているので別途ブース加算は不要です。

以上が外板パネル補修塗装指数の選択となり、次に内板骨格パネル補修塗装指数を選択します。

(4) 手順④：内板骨格パネル補修塗装指数の選択

例 A では、ラジエータサポートを取替えます。以下の表 4 が例 A の内板骨格パネル補修塗装指数のテーブルです。

表4より、ラジエータサポートを取替えるので塗装範囲は左右ラジエータサポート取替または修正で、指数1.2を選択します。

表4 例Aの内板骨格パネル補修塗装指数テーブル

内板骨格パネル補修塗装指数				
	塗 装 範 囲		指 数	備 考
1	左右ラジエータサポート	取替または修正	1.2	(含)アツパサポート、クロスメンバ
2	左右ラジエータサポート フロントフェンダエプロン	取替 片側取替または片側前半修正	1.5	前半部はタワーより前部 (含)サイドメンバ
3	左右ラジエータサポート フロントフェンダエプロン	取替 両側取替または両側前半修正	2.0	前半部はタワーより前部 (含)サイドメンバ
4	フロントピラー	片側取替	0.7	上部カット
5	センタピラー	片側取替	1.0	上部カット
6	リヤフロアパン	1台小修正	1.0	10dm ² 程度 (含)メンバ
7	リヤフロアパン	1台大修正	1.5	20dm ² 程度 (含)メンバ

(含) 下処理、シーリング

(注1) 本表にない塗装範囲については、掲載されている塗装範囲の指数を参考に適宜増減して運用してください。
 (注2) 車種によっては部品補給形態の適合しない場合もあります。

この数値は溶剤系塗料で塗装した場合の新品パネルのプラサフ用足付けから下塗り、上塗りまでの作業となります。

(5) 例Aの補修塗装指数算出

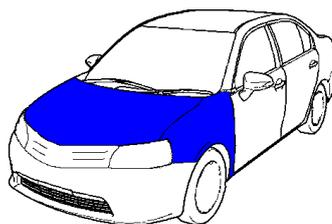
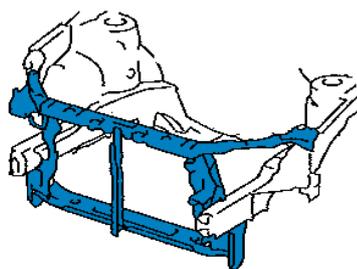
例Aのボンネット、左フロントフェンダおよびラジエータサポートを新品パネルに取替え、溶剤系2K塗料で2コートパール塗装する場合の補修塗装指数は以下の通りとなります。なお、補修塗装指数には材料代は含まれませんのでご注意ください。

$$\begin{aligned} & \text{塗り数値 } 2.8 + \text{加算基礎数値 } 2.9 + \text{付加数値 } 0.5 \\ & + \text{内板骨格パネル補修塗装指数 } 1.2 = \boxed{\text{補修塗装指数 } 7.4} \end{aligned}$$

☞チェックポイント

<内板骨格パネルの色が外板パネルの塗色と異なる場合>

内板骨格パネル補修塗装指数は、外板パネル補修塗装指数とともに使用し、外板パネルと同じ塗色を使用して塗装することを前提としています。したがって、下図のように内板骨格パネルの塗色が外板パネルの塗色と異なる場合は、内板骨格パネル補修塗装指数には内板骨格パネルの調色は含まれません。



3. 例B：リヤフロア板金修正

以下の図は、トランクパネル、バックパネル、リヤバンパを取替え、左クォータパネルとリヤフロアパネルを板金修正し、溶剤系速乾塗料でソリッド塗装する場合の補修塗装の例です。

例B トランクパネル、バックパネル、リヤバンパ取替、 左クォータパネル、リヤフロアパネル板金修正でソリッド塗装の場合

<補修塗装作業の内容>

- ・トランクパネル取替
- ・バックパネル取替
- ・左クォータパネル板金修正
- ・リヤバンパ取替
- ・リヤフロアパネル板金修正
- ・ソリッド塗装
- ・溶剤系速乾塗料使用（ブース使用）

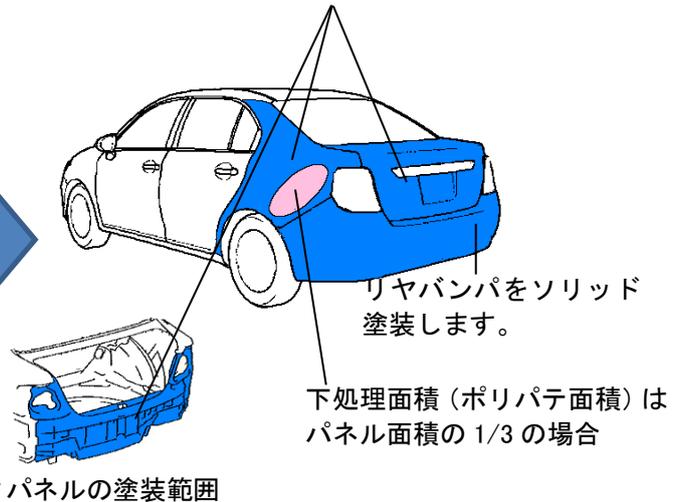
<補修塗装作業の範囲>

トランクパネル、クォータパネル、バックパネル計3枚をソリッド塗装します。

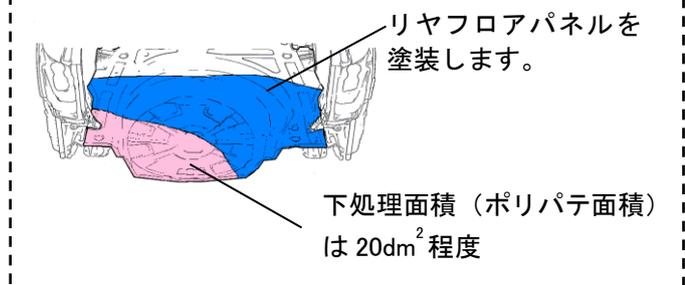


バックパネルの取替範囲

内板骨格パネル作業内容



内板骨格パネル補修塗装範囲



※作業範囲を明確にするために、リヤフロアパネルの図はバックパネルが取り外された状態ですが、この状態での塗装作業を意味するものではありません。

(1) 手順①：塗り数値の選択

例Bでは、取替えられたトランクパネルとバックパネル、板金修正された左クォータパネル計3枚を塗装するので、表5より取替のパネル名はトランクパネルおよびバックパネル、複数塗りでそれぞれ1.5および1.7を選択、修正パネルのパネル名は、クォータパネルで下処理面積（ポリパテ面積）がパネル面積の1/3なので、複数塗りで1/1 塗装の数値2.6を選択します。

以上より塗り数値は、トランクパネル1.5+バックパネル1.7+クォータパネル2.6=5.8となります。

表 5 例 B の塗り数値テーブル

塗り数値 (各塗膜共通) ※1dm²=10cm×10cm

No.	パネル名	面積 dm ² ※	取替パネル		修正パネル			高機能 塗 装
			複数塗	単体塗	1/1塗装	1/2塗装	1/3塗装	
					複数塗	複数塗	複数塗	
1	ボンネット	101	1.6	2.1	3.1	2.2	1.8	—
2	フロントフェンダ	35	1.2	1.6	1.9	1.4	1.3	—
3	フロントドア	93	1.9	2.5	3.0	2.1	1.8	—
4	リヤドア	80	1.7	2.3	2.7	2.0	1.7	—
5	クォータパネル	70	2.5	3.0	2.6	1.9	1.6	—
6	トランクパネル	90	1.5	2.0	3.0	2.1	1.7	—
7	バックパネル	68	1.7	2.2	2.5	1.8	1.6	—
8	ルーフパネル	188	2.9	3.8	4.1	3.1	2.5	—
9	ロッカアウタパネル	25	1.4	1.6	1.3	—	—	—

取替パネル：(含) 下処理、シーリング

修正パネル：(含) 下処理

(注 1) 溶接系パネルは取替に伴う関連部の補修塗装を含みます。

(注 2) 修正パネルを単体塗装する場合には、「塗り数値」に 0.4 を加算して運用してください。

(2) 手順②：加算基礎数値の選択

例 B では、外板パネル 3 枚を溶剤系速乾塗料でソリッド塗装します。表 6 より塗膜はソリッドで塗料が速乾、パネル枚数 3 枚で加算基礎数値 1.5 を選択します。ソリッド塗装の場合、塗り枚数に影響のない準備と調色作業にかかわる作業が加算基礎数値となるため、補修するパネル枚数による数値の変動はありません。

表 6 例 B の加算基礎数値テーブル

加算基礎数値

塗膜	パネル枚数	塗 料	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚
		ソリッド	速 乾	1.5	1.5	1.5	1.5
メタリック 2コートパール		2 K	2.8	2.9	3.0	3.1	3.1
		速 乾	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4
3コートパール		2 K	4.0	4.2	4.4	4.7	4.9
		速 乾	4.2	4.4	4.7	4.9	5.1

(3) 手順③：付加数値の選択

例 B では、溶剤系速乾塗料でブースを使用して塗装します。したがって、この例では付加数値の中から、ブース加算の数値を適用します。以下の表 7 が適用する付加数値のテーブルです。

表 7 例 B の付加数値テーブル

ブース加算

数 値
0.5

(注 1) ブースを使用した場合に、1 回加算してください。

(注 2) 3 コートパールおよび高機能塗装の場合は、ブース使用を前提とし数値の中にブース加算が含まれているので別途ブース加算は不要です。

(4) 手順④：樹脂バンパ補修塗装指数の選択

例 B では、リヤバンパを取替え、ソリッド塗装します。表 8 の樹脂バンパ補修塗装指数テーブルより、塗膜はソリッド、リヤー色で 1.8 を選択します。

表 8 例 B の樹脂バンパ補修塗装指数テーブル

取替 (ボデーと同時作業)				
塗膜	指数			
	フロント		リヤ	
	一色	二色	一色	二色
ソリッド	1.8	2.5	1.8	2.5
メタリック・2コートパール	2.0	2.6	2.0	2.6
3コートパール	2.2	2.8	2.2	2.8

(5) 手順⑤：内板骨格パネル補修塗装指数の選択

例 B では、リヤフロアパネルを板金修正し、ソリッド塗装します。リヤフロアパネルの内板骨格パネル補修塗装指数は下処理面積 (ポリパテ面積) の大きさに応じ、小修正 (下処理面積が 10dm² 程度) と大修正 (下処理面積が 20dm² 程度) の 2 種類が設定されています。

例 B で板金修正されたフロアパネルは、下処理面積が 20dm² 程度となり、表 9 より、リヤフロアパン 1 台大修正で 1.5 を選択します。

表 9 例 B の内板骨格パネル補修塗装指数テーブル

内板骨格パネル補修塗装指数			
	塗 装 範 囲		備 考
1	左右ラジエータサポート	取替または修正	1.2 (含)アツパサポート、クロスメンバ
2	左右ラジエータサポート フロントフェンダエプロン	取替 片側取替または片側前半修正	1.5 前半部はタワーより前部 (含)サイドメンバ
3	左右ラジエータサポート フロントフェンダエプロン	取替 両側取替または両側前半修正	2.0 前半部はタワーより前部 (含)サイドメンバ
4	フロントピラー	片側取替	0.7 上部カット
5	センタピラー	片側取替	1.0 上部カット
6	リヤフロアパン	1台小修正	1.0 10dm ² 程度 (含)メンバ
7	リヤフロアパン	1台大修正	1.5 20dm ² 程度 (含)メンバ

(含) 下処理、シーリング

(注 1) 本表にない塗装範囲については、掲載されている塗装範囲の指数を参考に適宜増減して運用してください。
(注 2) 車種によっては部品補給形態の適合しない場合もあります。

(6) 例 B の補修塗装指数算出

例 B のトランクパネル、バックパネルおよびリヤバンパを新品パネルに取替え、左クォータパネルとリヤフロアパネルを板金修正し、溶剤系速乾塗料でブースを使用してソリッド塗装する場合の補修塗装指数は以下の通りとなります。

$$\begin{aligned} & \text{塗り数値 } 5.8 + \text{加算基礎数値 } 1.5 + \text{付加数値 } 0.5 + \text{樹脂バンパ補修塗装指数 } 1.8 \\ & + \text{内板骨格パネル補修塗装指数 } 1.5 = \boxed{\text{補修塗装指数 } 11.1} \end{aligned}$$